

News Release



株式会社ファーマフーズ

会社名 株式会社ファーマフーズ

代表者名 代表取締役社長 金 武祐

コード番号 2929

上場取引場所 東証マザーズ

本社所在地 京都市西京区御陵大原1番地49

TEL075-394-8600 FAX075-394-0099

各位

ニワトリ抗体作製技術による「高病原性鳥インフルエンザの診断・防除法の開発」プロジェクトが革新的技術創造促進事業に採択されました。

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究所との共同研究による「H5・H7 亜型高(低)病原性鳥インフルエンザの診断・防除法の開発」の研究課題が、革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)に大型プロジェクトとして採択されましたので、お知らせいたします。

当社では上場以来、創薬、診断薬の研究開発に注力してまいりましたが、中でも動物衛生研究所の指導の下、共同して H5 亜型鳥インフルエンザウイルスの診断法の開発に力を注いでまいりました。

H5 亜型高病原性鳥インフルエンザウイルスは、2003 年以降、世界的な流行を引き起こし、我が国においても養鶏農場での鳥インフルエンザの発生を引き起こしております。

一方、H7 亜型低病原性鳥インフルエンザウイルスは、2013 年に家禽からヒトへの感染が確認され、パンデミックインフルエンザウイルスとして、世界的に警戒感が高まっております。

H5 亜型、H7 亜型の鳥インフルエンザウイルスは、発生の継続や世界的な拡大により多様化し、それぞれを特異的かつ網羅的に同定する迅速診断キットがなく、その開発が緊急課題とされています。

このような中、当社と動物衛生研究所は、H5 亜型ウイルスに対して特異的かつ網羅的に反応する抗体の作製技術を確立し、本年に特許出願を完了いたしました。

(特許出願番号：2014-115221)

そこで、抗原領域を探索する手法や抗体作製技術の更なる活用を目指し、新たな鳥インフルエンザウイルス診断キットの開発に着手するものです。

本事業では、鳥インフルエンザの確定検査機関である動物衛生研究所が、抗体作製領域の解析・同定及び亜型特異性の確認を担い、当社が抗原特異性・親和性の高い抗体作製技術を用いることで、亜型特異領域に対するモノクローナル抗体の作製を行います。

当社と動物衛生研究所は強固なコンソーシアムを設立し、これまでに開発したキットの高感度化に加え、H7 亜型においても、日本をはじめ世界中での養鶏現場で活用可能な、簡便かつ迅速な診断キットの開発を目指してまいります。

【受託研究の概要】

所管：独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構

事業名：2014年度 革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)

事業テーマ名：「H5・H7 亜型高(低)病原性鳥インフルエンザの診断・防除法の開発」

代表研究機関：独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究所

共同研究機関：株式会社ファーマフーズ

以 上